

令和8年度 第1回学校評価アンケート結果(児童) 梨の里小学校

- ・すべての質問で8割以上の肯定的な回答が得られた。
- ・特に、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、
 - 「1. みんなと学ぶことは楽しい」(96.7%)
 - 「4. 学校のきまりをまもっている」(93.4%)
 - 「7. きゅうしょくの もくひょうについて よくかんがえ、たのしく きゅうしょくのじかんを すごくすることができた。」(93.3%)
 - 「8. 授業はわかりやすく楽しい」(90.9%)
 - 「9. マイタブレットを使った授業は、勉強に役立っている」(91.6%)
 - 「10. じゅぎょうちゅう、ともだちの はなしをきいたり、ともだちと はなしあったりすることで、もっとよいかんがえが うかぶことがある。(低学年) 学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(中学年・高学年) (90.0%)
 - 「12. 友だちや学級のために行動している」(92.0%)
 - 「13. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある」(93.6%)
 - 「15. 先生はあなたの話を聞いてくれる」(93.9%) の9項目であった。
- ・昨年度の同時期(1回目)と比較し、3ポイント以上が下がった項目は、
 - 「11. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる」
 - 「16. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある」 の 2項目であった。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. みんなと学ぶことは楽しい。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	271	75.3	75.6	-1.0	9割以上の児童が、肯定的な回答をしている。協力しながら学ぶ意識が育っている。引き続き、児童との対話や関係職員との連携により、多様な仲間と学ぶ意味・価値が感じられる楽しい授業づくりと安心して学べる学級づくりを進める。
すこしあてはまる	77	21.4	22.0		
あまりあてはまらない	9	2.5	2.1	1.0	
あてはまらない	3	0.8	0.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. 登下校のとき、きちんとならんでいる。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	186	51.7	44.0	0.5	8割以上の児童が肯定的な回答をしているが、否定的な回答をしている児童も一定数いる。登下校の様子を見ていき、保護者・ボランティアの方と連携して、児童が安全に登下校できるように、努めていきたい。
すこしあてはまる	129	35.8	43.0		
あまりあてはまらない	33	9.2	9.3	-0.5	
あてはまらない	12	3.3	3.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	213	59.2	63.5	-2.2	今年度、PTA役員の方々のアイデアにより、児童を巻き込んだはなまるあいさつ運動を展開している。あいさつは家庭教育を基盤とし、学校・地域が一体となって習慣づけていくことが必要である。
すこしあてはまる	100	27.8	25.6		
あまりあてはまらない	38	10.6	9.3	2.2	
あてはまらない	9	2.5	1.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. 学校のきまりを まもっている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	208	57.8	59.1	-1.0	9割以上の児童がきまりを守ろうとする意識を持っている。今後も道徳教育を推進したり、よい行いを全体に広げたり、家庭と連携しながら、社会のルールを守る規範意識の高い児童を育てていきたい。
すこしあてはまる	128	35.6	35.2		
あまりあてはまらない	19	5.3	4.9	1.0	
あてはまらない	5	1.4	0.8		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. 早ね早おきや手あらいなどきちんとできている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	191	53.1	51.8	3.9	8割以上の児童が規則正しい生活をできている。今後も家庭と連携しながら、規則正しい生活の大切さを伝え続けたり、生活点検がより効果的に行えるよう取り組んでいきたい。
すこしあてはまる	130	36.1	33.4		
あまりあてはまらない	29	8.1	13.2	-3.9	
あてはまらない	10	2.8	1.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. けがを しないよう いしきしたり、けがを してしまったときには、なぜ けがをしたかを かんがえて せいかつしている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	182	50.6			保健室来室者の中には危険行動や防げるけがを繰り返してしまっている児童もおり気になっている。けがを予測・回避できる児童を育てていくための取り組みを二学期以降行っていく。
すこしあてはまる	121	33.6			
あまりあてはまらない	37	10.3			
あてはまらない	20	5.6			

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. きゅうしょくの もくひょうについて よくかんがえ、たのしく きゅうしょくのじかんを すこすことができた。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてはまる	246	68.3			9割の児童が給食の時間を楽しく過ごしていることが分かった。今後も給食の目標や食のよさを様々な方法で呼びかけることで、引き続き児童にとって楽しい時間となるようにしたい。
すこしあてはまる	90	25.0			
あまりあてはまらない	13	3.6			
あてはまらない	11	3.1			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
8. 授業はわかりやすく楽しい。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	213	59.2	57.0	3.5	児童の疑問や困り感を大切に、個々の考えを生かした学び合いを核とした授業づくりについて研究を進めることで、児童が自身の成長や学ぶ喜びを感じられ、自ら学ぼうとする姿を目指す。	
すこしあてはまる	114	31.7	30.3			
あまりあてはまらない	25	6.9	9.8	-3.5		
あてはまらない	8	2.2	2.8			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
9. マイタブレットを使った授業は、わかりやすく、勉強に役立っている。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	246	68.3	64.0	-0.8	9割以上の児童がマイタブレットの有効性について実感している。学校では日常的にマイタブレットを活用した授業が展開されている。学びが深まったと実感できるよう、効果的な活用や個々の学びを深める活用方法などにもつなげたい。	
すこしあてはまる	84	23.3	28.5			
あまりあてはまらない	22	6.1	6.5	0.8		
あてはまらない	8	2.2	1.0			

10. じゅぎょうちゅう、ともだちの はなしをきいたり、ともだちと はなしあったりすることで、もっとよいかんがえが うかぶことがある。 (低学年)			昨年第1回	比較増減	結果・考察
学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(中学年・高学年)					
あてはまる	194	53.9	52.6	1.1	9割の児童が話し合い活動に肯定的な回答をしている。自分の考えと比べて相手の話を聞いたり、その意見をもとに自分の考えを見直したりする柔軟な思考が育っていることを感じる。今後も、話し合いの時間を大切にしていこう。
すこしあてはまる	130	36.1	36.3		
あまりあてはまらない	25	6.9	8.5	-1.4	
あてはまらない	10	2.8	2.6		

		(人)	(%)	(%)	(P)	
11. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	260	72.2	71.0	-3.6	2学期は、教師と個々の児童とのつながりを育みながら、児童同士の信頼関係をより強く育てていくときである。周りにいる仲間の困り感に寄り添える学習集団づくりを意識して学級や個々に応じた支援をしていきたい。	
すこしあてはまる	60	16.7	21.5			
あまりあてはまらない	29	8.1	4.7	3.6		
あてはまらない	11	3.1	2.8			

(人)			(%)	(%)	(P)	
12. 友だちや学級のために行動している。			昨年第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	200	55.6	59.6	-0.8	各学級では、授業や生活場面等で児童の活躍の場を用意し、授業での振り返りや帰りの会等で互いの良さを認めたり、感謝を伝えたりして、自己有用感の育成につなげている。通学班等で保護者・地域の方が見つけた児童の良さを本人にフィードバックすることも大切な自己貢献感や自己有用感の育成につながっている。	
すこしあてはまる	131	36.4	33.2			
あまりあてはまらない	22	6.1	6.5	0.8		
あてはまらない	7	1.9	0.8			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
13. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	265	73.6	73.1	-0.7	9割以上が、力を合わせて得られた喜びを感じている。日々の授業や学校生活を通して学級への所属感を味わう経験を重ね、学校行事を通して団結力を育てることで、仲間と協力して成し得た喜びをよりいっそう実感できるようにしたい。	
すこしあてはまる	72	20.0	21.2			
あまりあてはまらない	16	4.4	3.1	0.7		
あてはまらない	7	1.9	2.6			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
14. 自分にはよいところがある。			昨年第1回	比較増減		結果・考察
あてはまる	190	52.8	58.5	-1.2		個々の頑張りを言葉で伝え、自分のよさを自覚できる働きかけをしていく。一人一人の発するプラスの言動に着目するよう努め、家庭と連携して励まし続けることで、個々のもつ良さを伸ばしていきたい。
すこしあてはまる	122	33.9	29.3			
あまりあてはまらない	28	7.8	9.1	1.2		
あてはまらない	20	5.6	3.1			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
15. 先生は、あなたの話を聞いてくれる。			昨年第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	279	77.5	71.2	-0.2	9割以上が、教師に話を聞いてもらえていると感じている。児童にとって、話を否定せずに最後まで聞いてくれる教師の存在は、学校生活に安心感を与え、教師への信頼感を強くする。今後も傾聴の姿勢を大切にして、個々との信頼関係の構築を図っていきたい。	
すこしあてはまる	59	16.4	22.8			
あまりあてはまらない	14	3.9	4.4	0.2		
あてはまらない	8	2.2	1.6			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
16. 自分には、ゆめや大きくなったら やってみたいことがある。		昨年第1回		比較増減	結果・考察	
あてはまる	261	72.5	75.1	-4.3	小学校から高校まで引き継いでいくキャリアパスポートは、自分の成長や変化を自己評価したり、自分の長所短所、好きや得意等への自己理解を深めたりして、将来の生き方を考えることを目的としている。そのキャリアパスポートを通して、学校と家庭が連携して将来を考えていく機会にしたい。	
すこしあてはまる	51	14.2	15.8			
あまりあてはまらない	30	8.3	6.0	4.3		
あてはまらない	18	5.0	3.1			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
17. 家の人と学校のことをよく話す。				昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	239	66.4	60.6	3.3	1日の大半を学校で過ごす児童は、たくさんの思いを家庭に持ち帰る。家庭では、心身の健康状態の把握や親子の信頼関係を築くためにも、「後でね」ではなく、「聞いてほしいとき」に手を止め耳を傾けることを引き続きお願いしたい。	
すこしあてはまる	74	20.6	23.1			
あまりあてはまらない	25	6.9	11.4	-3.3		
あてはまらない	22	6.1	4.9			